



せいきょう

秋の強化月間に向けて

8/20 「職員&組合員理事研修会」を開催



9月からはじまる「せいきょう秋の強化月間」に向けて、職員のみなさんと組合員理事で研修会（決起集会）を開きました。

午前中は3つのチーム（石けん、添加物、農薬）の研究発表が行われました。どのチームも自分達で考えた様子が見受けられました。今後もそれぞれのチームで勉強を続け、組合員さんの前で発表出来ることを期待します。

午後は事前に伊藤専務より問題提起があった「三つの危機」を受けて、その解決・改善についてグループディスカッションを行い、発表しあいました。今回の研修をきっかけに頭の隅に常に危機管理を意識させて欲しい。また部署の垣根を超えてそれぞれが自分の意見をどんどん言える職場になって、組合員にも生活提案をし、協同組合として強くなっていくことを希望します。（理事長 柳町弘美）

【9月～10月の予定】

●生協基幹運営／地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
8/31 (水) 第4回理事会 組合員理事業務視察会	
9.3 (土) 朝市・フリーマーケット (本部前広場)	9.3-4 (土・日) しらたかノラの会 10周年の集い
9.5 (月) 脱原発とくらし見直し委員会 (第56回)	
9.6 (火) 山本先生の憲法講座・第Ⅱ期スタート	9.10-11 (土・日) 関東子ども基金 神奈川甲状腺検診
9.7 (水) 生協まつり実行委員会 (第1回)	9.11 (日) 原発事故避難計画勉強会 (東海村 / 原告団主催)
9.10 (土) 八街ますだ 落花生堀り・試食体験	
9.13 (火) 無農薬三浦大根づくり (種まき) つくば木村農園	9.17 (土) 関東子ども基金 野田甲状腺検診
9.16-17 (金・土) 岩手産地交流 (宮古・岩泉)	9.21 (水) 関東子ども健康調査支援基金代表者会議
9.17 (土) 都留さんの「歴史講座」・第Ⅱ期スタート	9.22 (木 / 秋分の日) さようなら原発 さようなら戦争大集会 (代々木公園 さようなら原発 1000万人アクション)
9.24 (土) 乾物料理講習会 (第10回) 干し野菜	
9.24 (土) 水海道めぐみちゃん稲刈り	
9.28 (水) 第5回理事会	
10.1 (土) 朝市・フリーマーケット (本部前広場)	10.1-2 (土・日) 地方自治研全国集会 in つくば (筑波大) (10/2 TPP 分科会にて常総生協報告)
10.4 (火) 山本先生の憲法講座Ⅱ-2 ファシズムと帝国憲法	10.8 (土) 関東子ども支援基金 年次報告会 (生協本部)
	10.13 (木) 東海第二原発運転差止訴訟 第15回口頭弁論
10.15 (土) 取手地区手作りバター講座 (ゆうあいプラザ)	10.22-23 (土・日) 関東子ども基金 水戸甲状腺検診
10.22 (土) 都留さんの「歴史講座」Ⅱ-2	

8/20 せいきょう職員・組合員理事研修会



【午前の部】石けん・添加物・農薬 3グループ研究発表



発表「石けんと合成洗剤」



寸劇「喫茶 添加物」

リセージのデンプン増量



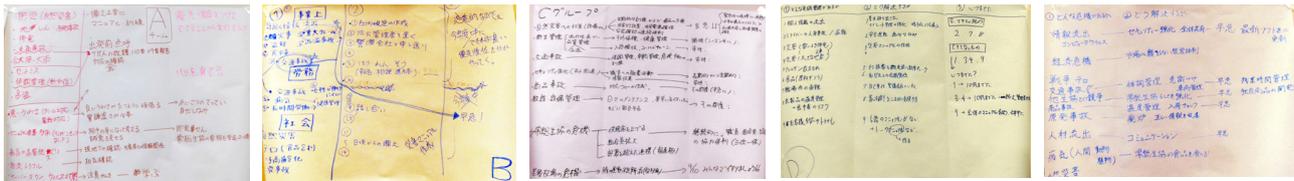
発表「ネオニコチノイド系農薬」



実験発表→
いつまでもカビの生えない市販のパン(右)とカビが出るおかべやのパン(左)



【午後の部】「3つの危機」解決に向けたディスカッション グループ別の討議録と発表



秋の飛躍に向けてがんばります！

ここ数年の経営構造を立て直すためには職員一人一人の「意識改革」は必須であると考えました。しかし、経営改革を急ぐあまりの業務の混乱は組合員との業務信頼関係をなくし、結果として経営改革にならない。

まずは、この40年の歴史を振り返ること。常総生協は何度も困難、苦難を乗り越え、正面から時代と向き合いグローバルな社会の流れに流されず、地に足をつけて取り組んできた「身土不二」の精神があります。

- ・ 素材を活かした手作りをしよう!!
- ・ 自分たちの食べ物を地域自給しよう。
- ・ 素材を無駄なく最後まで使い切りましょう。
- ・ 自分たちの生活を見直そう。

その為に、せつけん運動、菜の花プロジェクト、遺伝子組み換え反対、ネオニコチノイド系農薬反対運動、脱原発宣言と様々な問題に正々堂々立ち向かってきました。

もう一度原点に立ち返り、自分たちの生協の目指す生協像はどこにあるのか？そのことを再確認することが今回の集会の目的です。

職員と理事会をつなぎ、運動を事業にしづめることなく常総生協はここであると地域に発信していきたいと思います。

組合員・生産者・職員がいて初めて常総生協になる。そのことに感謝しながら秋に飛躍していけるよう頑張ります!! (専務理事 伊藤博久)



「三浦大根」の無農薬栽培 種まきから収穫までを組合員参加で

木村さんと一緒に三浦大根を作ろう！

～農薬を使わない栽培への挑戦～

一緒に大根づくりしましょう！

10年以上にわたって作付けをお願いしていた三浦大根ですが、昨年末生産者の木村さんと生協との間で、報告の遅れ等があり、ネオニコチノイド系農薬を使って害虫防除を行ってしまい、その大根について供給をストップしたという経緯がありました。

生産者との日々の交流がかけていたことがこのようなことを起こした一つの要因だと反省し、今年は、種まきから収穫まで「三浦大根」をテーマに木村さんとの活動をしよう決めました。

まずは、種まきです。

以下の日程で播種を予定しています。ぜひ12月～2月にかけて出荷予定の木村さんの三浦大根を美味しく頂く為に一緒に大根づくりましょう！

開催日時：2016年9月13日(火)

13:00～

*作業終了次第終わります。

集合場所：木村農園（茨城県つくば市）

*常磐自動車道 谷田部インター近く 詳しい住所については参加者へ直接お知らせします。

内容：三浦大根の種まき

持ち物：農作業できる恰好、長靴、軍手、帽子、タオル、水筒

問い合わせ：0297-48-4911(本部)

担当：井上



切り取り

★交流会参加申込書 *締切日 2016/9/9(金)

木村さん大根交流会（種まき）に参加します。

コース名

班名

組合員 NO

組合員名

参加人数：大人

人 / 子ども

人

*生協からも当日産地へ向かいます。一緒に同乗していきたいという方いましたらお知らせください。人数に限りがありますが、ご一緒出来ます。

都留さんの歴史講座も充実！ 9/17（土）スタート！



戦争の記憶をどう若い人に継承していくのか。9/17は、中国抑留者の記録～撫順（ぶじゆん）戦犯法廷を題材にして「戦争責任」についてみんなで考えます。毎回、参加者のみなさんと、気軽に感じたことを話しています。印象に残る点もさまざま、意外な発見も多く、楽しみです。（都留）



（感想から）「手にとろう歴史教科書」
 「教科書の選定がこのような歴史を持ち、すすめられて来たのだと知り、心底こわいと思いました。子どもたちがこれから学ぶことなので参加してとてもよかったです。
 教科書によってまるっきり認識を変えられてしまう歴史教科書。真っ白な子どもたちには美化された作り話ではなく、事実を知ってどう生きていくかを考え選んでいって欲しい。都留先生、ありがとうございました。」（若狭）

歴史に学ぼう II

都留孝子 先生 中高社会科非常勤講師

10:00～12:00 生協本部組合員室

9月17日(土)	戦争責任を考える(2)
10月22日(土)	戦後の運動「三池争議」
11月26日(土)	象徴天皇制を考える(1)
12月17日(土)	象徴天皇制を考える(2)

（感想から）「日本人の中国抑留記録を聞く」

「中国・撫順収容所の話しは感動的でした。中国に対しては悪い話ばかりが表に出ていて、日本の中では偏見が強いように思います。環境と教育で人はこんなにも変わるんだということを改めて感じました。次回が楽しみです。」（佐野）

「全く知らなかったNHKドキュメントを見ることができて、今日もよかったです。教育の力と人間力を感じて希望が持てます。中国、朝鮮に対する偏見、自覚なき差別を自分の中にも見つけました」（清水）

提携団体による催し物案内

木のスプーンづくり教室 自分で手作りしたスプーンで鈴木牧場ヨーグルトを頂きます

9月10日（土）ソロー八郷体感ルーム 13時～15時 定員 15名

9月11日（日）ソロー守谷体感ルーム 13時～15時 定員 25名

【主催】カタログハウス・ソロー茨城 【参加費】3,000円（スプーン1本と鈴木さんのヨーグルト付き）（申込）9/2まで（定員になり次第〆切）



カタログハウス・ソローの学校 高山英樹さんの 木のスプーンづくり教室のご案内

ソロー茨城では、ペレットストーブ体感ルームを会場にして茨城の森や自然にかかわるさまざまなイベントを行っています。今回は、木工作家の高山英樹さんを講師に迎え、「木のスプーンづくり教室」を開催します。講師の高山英樹さんは、栃木県益子町在住で、古材や廃材などを組み合わせて作る家具を中心に創作活動を行っている方です。その高山さんが荒削りした木製のスプーンをサンドペーパーで磨き、参加者それぞれのオリジナルスプーンに仕上げます。スプーンで使う木は、益子町の山で採採された山桜。最後に完成したスプーンで、鈴木牧場（石岡市）の無添加工ヨーグルトをいただきます。当日は鈴木牧場の鈴木さん・ともえさんも会場にいらっやいます。



高山 英樹(たかやま ひでき)プロフィール
 1964年生まれ。益子町在住。木工作家。
 雑誌「BRUTUS・居住空間」2012(2012年5月15日号)や米ポットランドのライフスタイル誌「KINFOLK HOME」(2015年10月発行)で紹介される。最近では水戸芸術館でワークショップを開催するなど、国内外で活躍。

日時 2016年9月10日(土) 13:00～15:00

場所 ソロー八郷体感ルーム

石岡市小見1048-1

定員 15名程度

※当日のご連絡はこちらへ0299-57-1181（ソロー八郷体感ルーム）

日時 2016年9月11日(日) 13:00～15:00

場所 ソロー守谷体感ルーム

守谷市松ヶ丘3-20-1

定員 25名程度

※当日のご連絡はこちらへ0297-38-6621（ソロー守谷体感ルーム）

お申込み締切り：9月2日(金)

※定員になり次第締め切らせていただきます。

参加費：1人3,000円（スプーン1本とヨーグルト付き）

お問合せ・お申込み

カタログハウス
 お客センター ☎0120-058-059

月～金は午前9時～午後7時、土曜は午前9時～午後6時、日曜祝日は休業。

カタログハウスさんとの提携について

カタログハウスさんは『通販生活』事業を主軸としながらも、「自然エネルギーの自給」をテーマに間伐材を利用する木質ペレットストーブ（ソロー）の販売を手がけ、自ら「地元の森林を守りエネルギーの地域自給を」と、ソロー茨城・千葉事業部を開設。「木質ペレット工場」をやさと（茨城県石岡市）に建設。2015年より木質ペレットの製造と販売を始められました。

常総生協では、新センター建設にあたって「木質ペレット」の空調設備を導入する際に、地域で協同して森を守ろうとこの地元の木質ペレットの利用を検討してきました。森林の放射能汚染問題から検査を重ねながら、2016年冬からソロー茨城製造のペレットの導入を予定しています。

その間、理事会・組合員とペレット工場の視察、筑波山の森・間伐材の様子視察を行い、またカタログハウス・ソロー茨城さんも総代会への参加や、地元の有機農家との交流がすすみ、鈴木牧場さんとも連携がはじまりました。

カタログハウス・ソロー茨城のやさととのペレット工場では社員さんが皆、常総生協の組合員になって食材を利用してくれています。

他方、カタログハウスさんは、福島原発事故と健康影響にも心寄せて頂き、関東子ども健康調査支援基金による子どもたちの甲状腺検診に、2014年以降毎年100万円の寄付・支援を頂いています。